

発信年月日：令和3年7月2日

所属部課	課長等	担当職氏名	連絡先	TEL 0837-43-2500
経済観光部観光政策課 香月泰男美術館	課長 宮本啓治	丸尾いと		FAX 0837-43-2577
件名	戦後日本美術史を代表する洋画家・香月泰男 生誕110年記念巡回展が開催されます			

戦後日本美術史を代表する洋画家のひとり、香月泰男。2021年10月25日は香月泰男の生誕110年にあたります。これを記念し、全国5会場で香月泰男展を開催します。

代表作《シベリヤ・シリーズ》全57点を含む約150点で構成される大規模な展覧会は、2004年（没後30年）以来、17年ぶりの開催です。

長門市からも香月のデビュー作《霜降りの山陰風景》（1934年作）、《兎》（1939年作）含む1930～1950年の作品を中心に、1970年代のフランスやモロッコ、久原山を描いた《雪の朝》（1974年作）等の油彩画、従軍・抑留を経て香月とともに帰国した“絵具箱”など54点を出品します。

■生誕110年香月泰男展 巡回先（予定）

宮城県美術館	2021年7月3日（土）～9月5日（日）
神奈川県立近代美術館 葉山	2021年9月18日（土）～11月14日（日）
新潟市美術館	2021年11月27日（土）～2022年1月23日（日）
練馬区立美術館	2022年2月6日（日）～3月27日（日）
足利市立美術館	2022年4月5日（火）～5月29日（日）

※内容等は各開催館にお問い合わせください。

【香月泰男概要】

戦後日本美術史を代表する洋画家。1911年、山口県大津郡三隅村（現・長門市三隅）に生まれ、第2次世界大戦時の従軍・シベリヤ抑留の体験を描いた代表作《シベリヤ・シリーズ》で知られる。生まれ育った三隅の地を「〈私の〉地球」と言い、亡くなる直前まで創作活動を行った。ふるさとの自然や愛する家族を題材とした絵画や、廃材を利用して作った「おもちゃ」と呼ばれるオブジェも人気を博している。